

世田谷区立深沢中学校施設整備計画基本構想（案）について

（付議の要旨）

世田谷区立深沢中学校の一部校舎の増改築およびリノベーション施設整備計画基本構想（案）がまとまったので、報告する。

1 経緯

深沢中学校については、平成23年度に次期改築校に選定されたが、平成24年度に「リノベーション※」の可能性を探るため、コンクリート（躯体）の強度を調査・検討した。その結果、一部校舎の改築と活用できる既存躯体の補修などを施し、耐久性を確保することで改築と同等の教育環境を整備できると判断したため、一部校舎の増改築とリノベーションによる長寿命化を図ることとなった。

※リノベーション・・・既存躯体を活かし耐震性強化やバリアフリー、環境負荷低減の措置を施し、建物の長寿命化を図って機能性を上げること。

2 基本構想（案）の概要

（1）基本方針

- ① 多様な教育に対応し、あたたかみのある学校づくり
- ② 環境にやさしい学校づくり
- ③ 地域とともに生徒を育む学校づくり
- ④ 安全・安心な学校づくり

（2）計画条件

① 教室数の設定

12学級（平成30年度までの予測最大学級数で設定）

【参考】生徒数：11学級 381名（平成25年5月現在）

② 基準延床面積の設定

8,668㎡（標準設計指針・標準仕様書による）

（リノベーション校舎・体育館面積 5,831㎡含む）

（3）計画の特色

① 計画方針

一部校舎（昭和38年建設）の改築および増築と残りの校舎・体育館（昭和50～58年建設）に必要な補強・補修を施し、最新の省エネ対策やユニバーサルデザイン対応とともに内外装を更新するほか、改築相当の教育環境整備とするため、新たな学校施設整備基本方針及び標準設計指針・標準仕様書に基づく改築仕様にした計画とする。

② 配置計画

新設する特別支援教室を含めた改築校舎を現状と同じ位置に配置し、法規制等により改築・既存校舎に収容しきれない諸室を、体育館横に増築することで、現状のグラウンドを確保するとともに、周囲の環境を著しく変えないように配慮する。

③ 平面ゾーニング計画

各諸室の配置を見直し、普通教室ゾーンは改築校舎2、3階およびリノベーション校舎3階に配置、全教室を南向きとする。職員・管理ゾーンは昇降口及び校庭を視認できる位置とする。特別支援教室および給食室は改築校舎1階とする。

④ 動線計画

改築校舎にエレベーターを設置し、既存体育館への連絡通路を新設することで、普通教室から体育館棟への動線を確保する。また、屋上プールへの動線として、新たに昇降口屋上にスロープを設置するなど、ユニバーサルデザインに配慮した計画とする。

⑤ 外構計画

既存の樹木をできるだけ残し、周辺からの景観に配慮する。

⑥ 環境への配慮

既存校舎の断熱性向上による省エネ対応や屋上緑化、太陽光発電、雨水利用等を行い、エコスクールとして環境学習の場とする。

⑦ 文部科学省モデル事業

学校施設老朽化対策先導事業（平成25年度）の選定を受けており、老朽化対策の具体的手法についての検討・研究を、国の支援を受けながら進めていく。

(4) 計画概要

① 敷地概要

所在地 世田谷区新町1丁目26番29号
敷地面積 14,382㎡

② 建物概要

構造・階数 鉄筋コンクリート造、地上3階建
延床面積 8,900㎡程度（既存延床面積 7,636㎡）
【増改築面積 約3,000㎡程度、リノベーション面積5,831㎡】

③ 主要室構成

学校施設 普通教室（12）、ワークスペース（3）、特別支援教室（2）、特別教室（理科室（2）、家庭科室（2）、音楽室（2）、技術室（2）、多目的室、図書室、パソコン室等）、体育館、格技室、給食諸室、管理諸室等
地域連携施設 防災倉庫

④ その他

工事期間中の学校運営は、当該敷地内に建設予定の仮設校舎で行うこととする。

3 概算工事費

約24.2億円

4 工事工程（想定）

平成25・26年度 基本設計、仮設校舎設計
平成26年度 実施設計、仮設校舎建設
平成27・28年度 既存校舎解体工事、増改築工事、リノベーション工事
平成29年度 仮設校舎解体工事、校庭整備工事

5 今後のスケジュール（予定）

平成25年 9月 9日 教育委員会報告
9月20日 文教常任委員会報告
9月 下旬 住民説明会

6 敷地概要・配置計画図等

別紙のとおり